

今回3回目となるメキシコフィッシングトリップ。7月頃より色々なプランを提案してくださった小松さんに大変感謝しております。おかげさまで今回も兄弟で大変楽しい旅行を満喫することができましたので釣行記を書かせていただきます。旅行プランとしては12/26～1/2までで、ロサンゼルスで前後1泊ずつ、メキシコで4泊（内釣りは3日半）でした。

1日目（成田発 ロス着 シンガポールエアー）

チェックインカウンターで確認したところバズーカは2.3mくらいでしたが荷物のオーバーチャージに関して全く問題ありませんでした。これに関しては毎回違うので要チェックですが今回メキシコのマサトラン空港までの荷札を貼ってもらいました。後々これがロスでのチェックインで良かったのかもしれませんが。12/26 夕方成田発でロス着が現地時間の12/26の昼過ぎでした。ロスの空港着後、事前に予約をお願いしていたハーツレンタカーまでは空港からのシャトルバスで移動。到着後レンタカーを借りるのに大行列でした。予約をしていたにも関わらず車に乗るまで約2時間かかりました。予約をお願いしていなかったらと思うともしレンタカーを借りるなら事前予約が必須かと思います。そして今回の目的であるアングラーズマリンというプロショップとバスプロショップに向かいました。アングラーズマリンではバスボートのカタログをもらったり、雑誌やルアーを買い込みました。自分の乗っているバスボートの新モデルが本場のアメリカで見られて感激でした。そこからバスプロショップへ移動し、日本で買えないルアーやアパレル、お菓子などのお土産を買い込んでいたらあっという間に時間が過ぎました。夕食はバスプロショップに併設しているレストランで済ませ、途中で次の日の朝飯用にランディードーナツに寄ったりしながら宿泊先のヒルトンホテルまで帰りました。チェックインは22:00過ぎとなり寝たのは深夜でした。







2日目（ロス発 マサトラン着 アラスカエア）

11:00 頃のフライトだったので前日買ったドーナツをホテルで食べ、ロスまでホテルからのフリーシャトルで向かいました。空港でチェックインを済ませ、荷札は剥がさないでいた荷物を預けたら全く問題ないどころか、重量すら測られていないようでした。ロスでお土産を買っていたため重量が気になっていましたが全く問題なしでした。そこからマサトラン空港まで約3時間で無事着きました。無事入国審査を受け、空港を出るとロッジのドライバーのラウルと合流。後から日本人が来るということで待っているとエルサルトに数回通っている S さんとも合流。そこからロッジに向け出発というところで、乗ってきたピックアップトラックがバッテリー上がり……。出鼻をくじかれた感じでした。車内

で S さんと談話しながら待っていると、しばらくしてジャンパーケーブルで他の車にレスキューしてもらいました。そして向かう途中でテカテというビールをご馳走してもらい、ロッジ到着。あわよくば夕方釣りと思いましたが断念となりました。夕食は前のりしていた日本人の方が数名いて、ご一緒させていただき色々教えていただきました。エルサルトは個人手配で何回も通っている方が多く、釣り談義で楽しい時間でした。



3日目（釣り1日目）

モーニングコーヒーは5時頃で起こしに来てくれました。すぐみんなで朝食をとり、6時過ぎには出発。みんなでバンに乗り込み、約20分で湖に到着。ガイドは34歳ハビエル。出発するときにエンジンをいじっていたが案の定出発してストップ。スロープ周辺からトップで開始となりました。トップの反応は良好でしたがサイズが出なく、午前中は小さいのを釣って終了となりました。午後はボートを交換してくれと頼み、昼食をみんなでワイワイしながらとり、情報交換してシェスタ後午後となりました。今回のエルサルトは常連の方たちいわく、かなり満水状態ということでした。浮き草が多く、バカラックとは違い巻物系はやりづらいですがカバーフィッシングができる感じでした。際を巻物、ワームで流す釣りで数は釣れるがサイズは出ないといった感じで初日は終了となりました。大きいのも50cm前後で大きくても4〜5ポンドでした。やはり海外での釣りは日本とは違い、魚がパワフルで大いに楽しみました。

4日目（釣り2日目）

2日目の朝食時に前日の夕食時にフルークは定番だよと皆さんが言っており 8 インチしかないということでアメリカ在住の G さん、10 ポンドキラー S さんが朝に大量に分けてくださいました。（G さん、10 ポンドキラー S さん本当にありがとうございました）そして釣りは朝のトップ、その後は初日にメキシコ定番のフルークを使用して釣りをしました。沖にあるハンプをフルークで釣るとワンバイトワンフィッシュの状態に…。今回はデカめのルーアーをベースで持っていたが思ったよりもエルサルトのベイトは小さめでした。途中テキサスや巻物を織り交ぜて釣れましたが、フルークの効果は大きくて午前中で1袋のワームがすべて無くなりました。日本でワームが無くなるほど釣るのは大変ですがエルサルトではあっという間でした。確かに常連の皆さんの話のフルークはエルサルト定番で釣果に差が出ることを実感しました。ただあまり日本で売っていない色なのがつらいところですが…。午前はやっとグットサイズの 6.5 ポンドを兄がキャッチして終了。こちらでもフルークでした。シェスタ後、午後は午前と同じポイントに入りフルークからスタート。5～6 投に 1 回当たる位で釣れるがサイズが出ないといった状況の中で、スローにボトム付近を引くとようやく 59cm 約 7 ポンドが釣れました。日本でなかなか釣れないサイズが釣れてやっと一安心でした。その後移動して風が吹いたタイミングでフルーク、スピナーベイトなどの巻物で数釣りをして夕方はトップといった感じで午後も終了。宿に帰りマルガリータで乾杯し、夕食はまたみんなで情報交換しながらワイワイ騒ぎ、次の日に備えました。



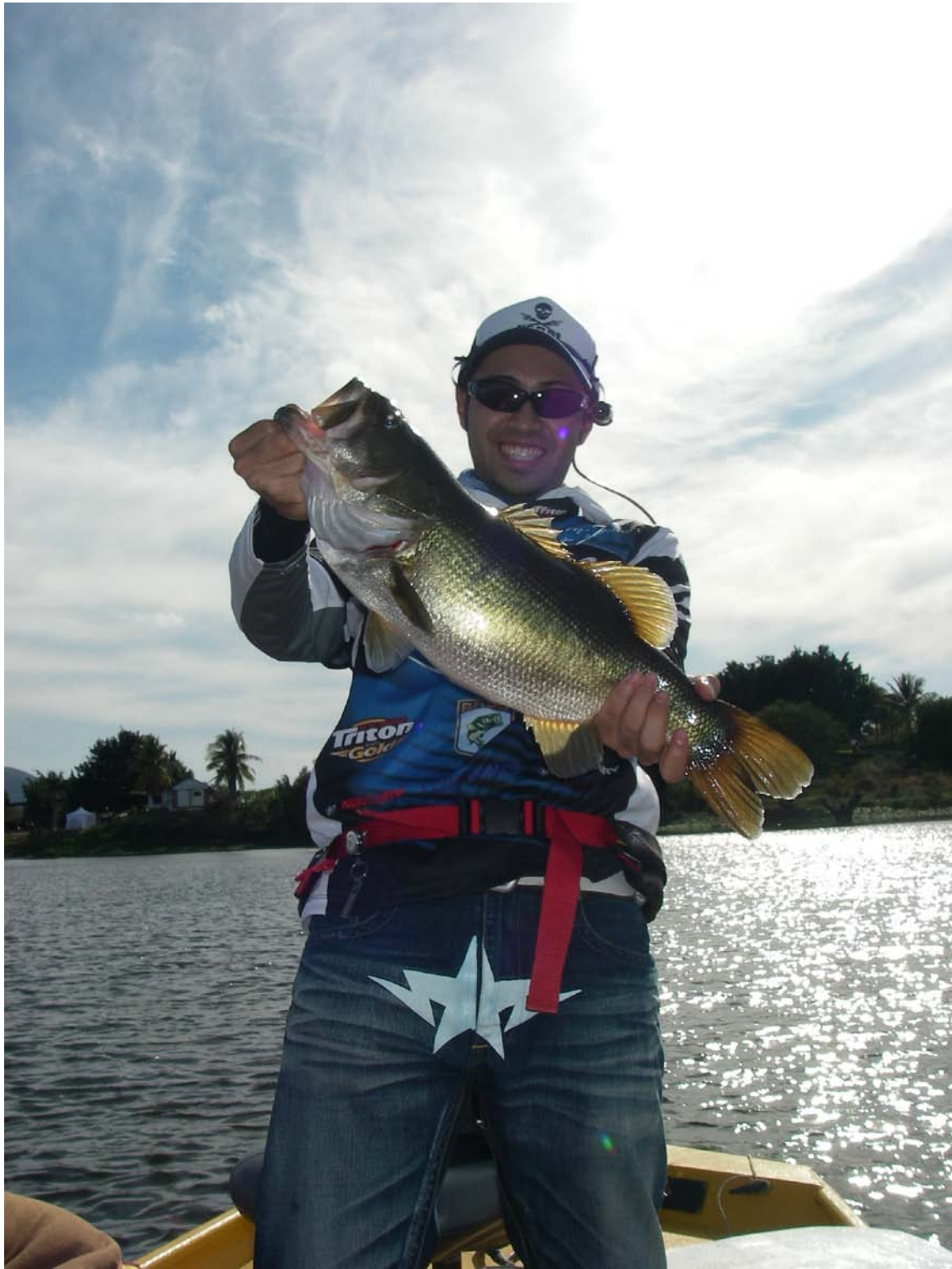


5日目（釣り3日目）

3日目は上流域に向かい朝からトップでしたが全く反応なし。出たのはティラピアのみでトップは終了。水深6mくらいの平場でフルークとディーブ克蘭クのニーリングでの早巻き

で入れ食い状態。だいぶ楽しんだ後、昨日デカイのが出たポイントでフルーク。周りのアメリカ人アングラーはアラバマリグで 2 匹掛けしたり、ヘビキャロで釣ったりとかなり釣れている状況でした。午前の子供は 6.5 ポンドまでで、二人そろって数匹釣って昼食へ。昼食後エルサルトに何回も通っているベテランアメリカ人アングラーと話が盛り上がり、フルークを分けていただきました。釣り方を教えていただき、すべてが参考になりました。おおらかでいつも楽しそうな年配の方でこんな年のとり方ができればなあとも思いました。午後はフルークで前日から通い詰めているポイントへ入り、6 ポンドくらいを釣った後、風が吹いてきたタイミングで移動。ウィンディサイドのバンク沿いをジャークミノでワンバイトワンフィッシュ状態。でかいのは 4 ポンドくらいでしたがかなりの数釣りできました。日本では味わえない釣りでした。その後兄が次のポイントのバンク沿いをフルークで 6 ポンドクラスを 2 本釣りました。夕方はカバーがらみをトップとノーシンカーフルークで攻めていき、兄がフルークで爆釣状態となり終了となりました。ロッジに着くとまたマルガリータで乾杯、情報交換で宴会。次の日は私たちと G さん、S さんと多くが帰国となるためいつもより遅くまでみんなと騒いでいました。遠いメキシコの地で初めて会って、国も住む所も年齢も違う人たちがバスという魚を通じて仲良くなれるバスフィッシングの良さを実感しました。アマゾンやタイなど釣り話とガイドに伝える絵(?) がうまかった K さん、GoPro を持ち込んでテキーラガンガン飲んでた W さん、釣り方について色々教えていただいた 10 ポンドキラー S さん、フルークを大量に分けてくださった G さん、現地プロと仲良く、メキシコ事情に詳しい T さん、今回の最初から最後まで日程が一緒だった S さんなど多くの方と知り合い、非常に有意義な時間で最高の夜でした。





6日目（釣り最終日 半日 マサトラン発 ロス着 アラスカエアー ）

釣り最終日は午後3時のフライトなので移動時間、片付けを含めても4時間の釣りでした。
いつ来てもあっという間に時間が過ぎてしまうなぁと思いつつ、最後にメキシコに来ると

きの目標である 10 ポンドキャッチのために色々策を講じました。前日の爆釣したポイントからトップでスタート。連日の暖かさから上に出るかと思いましたが曇っていて全く反応がなく、移動。初日に入った沖のハンプで前日 T さんと話をしていたヘビキャロへ変更。ワンバイトワンフィッシュが続くが 4 ポンドどまりでした。その後ずっと入っていたポイントへグットサイズ狙いで移動。ポツポツ釣れるがサイズが出ない状況でした。釣りの最中に無線で **Happy New Year All For Japanese** と聞こえ、何かと思えば日本の年越しの時刻でした。粹だなあと思いつつ、年越しをメキシコのエルサルトの湖上で迎えられたことはなんだかとてもいい気分でした。その後も釣り続け、グットサイズがでないままラストキャストの時間になりました。最後は兄弟そろってエルサルトバスを釣り、ロッジに戻ることとなりました。ボードランプに戻るときにタックルはほぼ片付け終わり、ロッジ着後大急ぎで梱包し、ロッジオーナーのスイギスに前日お願いをしていたキャップも頂いてマサトラン空港へ向かいました。空港着後は航空会社が違う S さんと別れ、チェックイン。と思ったら S さんがカウンターで揉めていたので空港職員からお願いされて兄がヘルプに入り事なきを得たようでした。フライトまで時間があつたので空港のカールスジュニアでハンバーガーを食べ、ロスへフライトとなりました。ロス着後はヒルトンへチェックイン後近くのコンビニで色々買い込み兄弟で宴会となりました。

7 日目（ロス発 成田着 シンガポールエア）

フライトは 14 時で時間があつたのですが、チェックインなどを含めるとレンタカーを借りてどこか行くというのは厳しいので歩いていける近くのスーパーに行きました。コンビニ、スーパーでまた買えるだけお土産を買い込みました。日本のスーパーとはちがいすべてが新鮮で楽しい時間でした。そして預け荷物で重量オーバーになりそうだったので手荷物に入れて調整をしてから空港でチェックインしました。荷物はスムーズでオーバーチャージありませんでした。そして約 9 時間のフライト後、日本時間の 19 時に成田着、そこからバス、電車で自宅に着いたのは 22 時過ぎでした。



今回の旅行は、私は 3 回目、兄は 2 回目のメキシコで、以前はバカラックで今回はエルサ

ルトでした。釣果は思ったようにはいきませんでした。旅行としては最高に楽しい旅行でした。国や地域を越えて多くの方とバスフィッシングについて熱く語ったこと、日本では買えないルアーやお土産を買えたことは海外に釣りに行かないと味わえない体験でした。英語がほとんど話せない私でも行けば何とかなると初めて行ってからすでに3回目。またすぐにでも行きたいと思っています。今回もバッシンヘブン小松さんのご協力で最高の旅行になり本当に感謝しております。休みが取れたらまた兄弟で行きますのでそのときはよろしく願いいたします。

